

各位

上場会社名 株式会社 田中化学研究所
 代表者 代表取締役 社長執行役員 田中 保
 (コード番号 4080)
 問合せ先責任者 取締役執行役員 嶋川 守
 (TEL 0776-85-1801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	△60	△120	△130	△9.35
今回修正予想(B)	6,800	△190	△320	△330	△23.74
増減額(B-A)	△1,200	△130	△200	△200	
増減率(%)	△15.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,433	△310	△387	△374	△27.10

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	170	50	20	1.44
今回修正予想(B)	14,000	△380	△570	△590	△42.45
増減額(B-A)	△4,000	△550	△620	△610	
増減率(%)	△22.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	10,660	△476	△627	△715	△51.62

修正の理由

民生向け分野の電池業界は、電動工具などの用途拡大による好調な面がありましたが、スマートフォンを含む携帯電話の伸長率低下や基本ソフトサポート終了に伴うノートパソコンの買い替え需要が一段落した傾向があり、二次電池メーカーが当第2四半期後半に大幅な生産調整・在庫調整を実施した影響により当社の主力製品である三元系正極材料の同四半期の販売数量は大きな落ち込みを見せております。また、順調に拡大してきた環境対応車向けリチウムイオン電池向け製品が当初の想定よりも低調な状況となったことも売上高及び営業利益を引き下げる要因となっております。

以上の要因、及び、本日公表の「営業外費用の計上に関するお知らせ」のとおり急激な為替相場の変動による為替差損を計上することにより、当社の第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は当初の予想より大きく下回る見込みであります。

また、上述の二次電池の市場環境が当面継続するものと予想される中で、当社は第4四半期には新規顧客への販売拡大や新規製品の事業確立などの効果により回復が見込まれておりますが、第3四半期までは当初計画より低調な状況になることより、通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を大きく押し下げる見込みであります。

以上のことから、上表のとおり業績予想を修正いたします。

※なお、上記の予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想値と異なる場合があります。

以上